



PIHS・パササンバオ活動報告

保健ボランティアと住民参加によるモロの村の健康増進事業。代表ナブサさんのメールからお伝えします。

(WE21 ジャパンみどり助成)

2009/4/8 助産師のハムシアが中東に働きに行くことになりました。啓蒙活動に長けていて貴重な人材でした。今年はシャリファ(助産師コース卒)と保健ボランティア・ダルリアの3人で活動します。



薬草について話すダルリアさん(アラベル町カワン村)

2009/5/1 パリンバン町での割礼やコレラ、マラリア予防研修(3日間)を終えて戻ったところです。各村の代表やバラングイ職員が集まりました。今月は妊娠出産研修と鍼研修も予定しています。

ティナガカンとトゥヤンのボランティアから、生活が大変で月末研修は欠席したいと言ってきました。

2009/5/5 ボランティアが集まりにくいので、資金もかからない各村ごとの研修に重点をおきます。

2009/5/27 ファティマ村で1日に73人の子どもの割礼手術をし、疲れしました。30日にはまたパリンバン町で寄生虫駆除と、サンペドロ大学の検査技師の協力で血液型検査をします。(抄訳・山崎)

急ピッチで進むゴメロ村の簡易水道建設

(国際ボランティア貯金寄附金配分事業)



6月末、住民集会を重ねて待っていたゴメロ村に資材が届きました。その後は住民一丸となりパイプ敷設作

業が続き、7月8日には試験的に水源から水が届きました。早いペースで工事が進んでいます。

(工事責任者リコの報告より)



ハッピーファミリー&ヘルシーコミュニティプロジェクト終了

(ラッシュジャパン助成)

妊産婦と若い母親のための研修は、4月のバゴンシラン村での開催を最後に終了しました。

3日間の研修は大雨に見舞われましたが、50名の参加者がありました。やはり自分たちの住んでいる村で健康のための研修を受けることができる、というのは大きな魅力です。

基本的な病気の知識と予防、衛生観念、ビタミンと栄養素と食物について、緊急時の手当て、子どもがかかりやすい病気、家族計画などぎっしりの内容は、小学校を中退せざるをえなかった女性たちから「体系的に学べた」、「第2回を開催してほしい」と好評でした。



研修の最後には、みなさまから送っていただいたハンカチをひとりひとりに渡しました。お気持ちをありがとうございました!

☆ CMIP 医療定期支援 ☆

4月報告より:<主な症例>風邪・発熱・頭痛 10名、下痢 3名、高血圧 2名、排尿時の痛み 2名、その他外傷・皮膚炎など合計 23名。うち 13名が G サントス公立病院で、8名は CMIP クリニックで治療を受けた。グリーンカード収入 1,440 ペソ。

5月報告より:<主な症例>前月とほぼ同じだが、 Dengue 熱 2名を含む合計 29名。うち 17名が G サントス公立病院で、10名が CMIP クリニックで治療を受けた。グリーンカード収入 1,270 ペソ。